

12月に行いました学校教育に対するアンケートにお答えいただきありがとうございました。また、児童に対しても同様にアンケートを実施しました。その両方の結果がまとまりましたのでお知らせします。

前期同様、児童アンケート、保護者アンケートについて結果を考察しました。今回、デジタル機器の使用の際の家庭でのルールについても回答をお願いしました。ルールについての分析・考察もご覧ください。

皆様からの貴重な評価やご意見を真摯に受け止め、学校運営の参考にしていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

分析 ※前回比・・・増減5%未満は－、増減5%以上↑、増減10%以上↑↑
☆マークはかほく市共通の項目

評価の観点			AB評価ポイントと前回比			結果・改善策
			R6.7	比	R6.12	
1☆	児童	学校に行くのが、楽しいですか。	95%	－	93%	保護者A評価は上がり、児童A評価は下がった。保護者評価と児童評価が同じくらいになってきている。AB評価が100%になるよう、個別に対応するとともに、日々の児童理解に努め、子どもにとって充実した学校となるよう心がける。
1☆	保護者	子どもは、毎日楽しく学校に行っている。	91%	－	87%	
2	児童	学校や学級で友だちと仲よくしていますか。	97%	－	98%	児童C評価1名、保護者C評価4名、D評価1名。互いに認め合い、励まし合い、支え合える集団づくりを目指して、生徒指導の4つの視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成)を取り入れた教育活動を展開する。
2	保護者	子どもには、仲のいい友達がいる。	99%	↘	91%	
3	児童	元気よくあいさつをしていますか。(先生、友達、地域の方)	95%	↘	90%	児童、保護者ともAB評価が下がっている。今後、挨拶の大切さが実感できる取組や児童会での取組を工夫し、進んで明るい挨拶ができるよう指導する。
3	保護者	子どもは、明るくあいさつをしている。	92%	↘	84%	
12	児童	先生は、いろいろと工夫して分かりやすく教えてくれますか。	100%	↘	93%	保護者A評価、児童AB評価は下がった。学習の個別化や個性化、個に応じた支援を推進し、児童に学びの実感がある授業の工夫を図る。
5	保護者	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	92%	－	94%	
15☆	児童	自分で計画を立てて、勉強していますか。(家庭で、学年の目標時間を守って、勉強していますか。)	89%	－	90%	児童、保護者ともR5後期なみに下がった。学習習慣の大切さを指導するとともに、身につけていない児童によりよい家庭学習の習慣を図るための取組が必要である。
6☆	保護者	子どもは、自分で計画を立てて勉強している。(学年の学習時間(学年×10分)や時間帯を守って行うなど)	57%	↘	48%	
14☆	児童	読書は、好きですか。	86%	－	86%	家庭で読書する機会が少ないせいか、保護者評価が低い。普段からのうちどくを推奨していくとともに、学校での読書の様子を積極的に伝えていく。
7	保護者	子どもは、読書に親しんでいる。	54%	↘	51%	
16	児童	学校や家庭・地域で、よい言葉づかいをしていますか。	95%	↘	90%	児童AB評価が下がった。場や相手に応じた言葉づかいの大切さの指導が必要である。
8	保護者	子どもは、よい言葉づかいをしている。	62%	－	64%	
17	児童	学校や家庭で、自分の物やみんなで使う物を整理整頓していますか。	94%	↘	85%	徐々に改善傾向がみられていたが、全体的に下がった。どんな物も大切に扱うことの大切さの指導と学校・家庭と連携した指導が必要である。
9	保護者	子どもは、身のまわりの整理・整頓ができる。	43%	↓	32%	
18☆	児童	毎日、朝ごはんを食べていますか。	98%	－	97%	児童C評価3名、D評価2名。保護者の生活習慣の影響を受けやすい傾向があることなので、今後も朝ご飯の大切さについて、保健指導や食育で継続した指導を行い、家庭と連携しながら取り組んでいく。
10☆	保護者	子どもは、朝ごはんを食べて学校に行っている。	92%	－	92%	
19	児童	自分にはできるお手伝いやボランティア等に取り組んでいますか。	88%	↓	78%	児童評価が全体的に下がった。普段の掃除や係の仕事などに自己有用感を感じることができるとよい振り返りや声掛けが必要である。
11	保護者	子どもは、進んでお手伝いをしている。	57%	－	59%	
20☆	児童	将来の夢や目標を持っていますか。	91%	↘	83%	保護者A評価、児童AB評価が下がった。キャリアパスポートを活かしながら、夢を持つことの大切さや目標を達成した時の達成感などを味わわせる取組を進めていく。また、職業のことだけでなく、どんな大人(人間)になりたいかの視点も大切にする。
12☆	保護者	子どもは、将来の夢や目標を持っている。	74%	－	75%	
23☆	児童	1日(平日)に平均してどのくらい、メール・ネットをしていますか。ただし、学習に関係する視聴はのぞきます。	72%	↗	78%	コロナ禍明けで改善傾向であったが、特に保護者のA評価が低かった。家庭でのルールがなかったり、あいまいであったりする児童は多い傾向がある。また、ルールは初めが肝心であるため、特に低学年保護者によりよい使い方を伝える必要がある。
17☆	保護者	子どもは、1日(平日)に平均してどのくらい、メール・ネット(ライン・ゲーム、動画・Instagram・TicTok等)をしていますか。※ただし、学習に関係する視聴は除く。	66%	－	65%	

評価の観点			AB評価ポイントと前回比			結果・改善策
			R6.7	比	R6.12	
4	児童	安全に気をつけて生活しましたか。	100%	—	100%	AB評価は100%と良好であったが、A評価が下がった。今後も継続して指導する。
5	児童	仲よく協力して、ふれあい班活動(行事や給食・そうじ)ができましたか。	97%	—	95%	C評価3名。ちょっとした困ったことよりたくさんあった楽しいことに目を向けられる声掛けや支援を心掛ける。
6	児童	学級園やプランターの世話、金津の森での体験活動、生活・総合の学習などをとおして、自然や環境のことを大切にしましたか。	100%	—	98%	A評価が下がった。お手伝いの項目と関係している。協力して、お世話をすることで自然愛護の心を育てていく。
7	児童	毎月の生活目標の反省や、セルフチェックカードで、「○」になるようにがんばっていますか。	97%	↘	88%	AB評価ともやや下がった。よい姿を認め、励ます指導、支援に努める。
9	児童	授業中は、よく考えて発言していますか。	89%	—	86%	AB評価とも若干下がった。授業の充実を図る。
10	児童	先生や友だちの話を最後までしっかり聞いている。(学校集会や行事も含めて)	97%	—	97%	A評価がR5後期なみに下がった。聞いたことに関して話す機会を意図的に設けるようにする。
11	児童	タブレットを使った学習は楽しいですか。	97%	—	100%	前回評価同様高い評価であった。今後も主体的・対話的で深い学びにつながるICTの効果的な活用を充実させていく。
21	児童	自分には、よいところがあると思いますか。	86%	—	88%	A評価、AB評価が上がった。より肯定的な評価が多くなるように互いを認め合う学級・学校を進めていく。
22 ☆	児童	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100%	—	98%	A評価が100%になるようになぜいじめはいけないのかを引き続き指導していく。

評価の観点			AB評価ポイントと前回比			結果・改善策
			R6.7	比	R6.12	
4	保護者	子どもには、思いやりの心が育っている。	95%	—	97%	A評価がやや上がった。今後も道徳の重点目標として教育活動全体で取り組んでいく。
13	保護者	子どもは、家で学校のことを話す。	83%	↘	76%	AB評価とも下がっている傾向がある。今後、保護者との密な連絡をするとともに、親子での会話を啓発していく。
14	保護者	学校便りや学級だより等で、学校の指導方針や子どもたちの様子がわかりやすく伝わっている。	98%	—	100%	先生方の日頃のコドモンを利用した保護者への配信やHPの更新が浸透してきた。
15	保護者	学校における、いじめの防止・早期発見のための取組が伝わっている。	94%	—	95%	A評価がやや下がった。生徒指導部を中心に学校の取組を伝えていく。
16	保護者	子どもは、下校後や休日にはテレビやゲームばかりに夢中になっていない。	40%	—	43%	2学期以降の寒くなる季節になるにつれて、使用時間が長くなる傾向がある。家庭との連携が不可欠である。

★デジタル機器を使うときのルールについて

			ある	ない	
24	児童	家でデジタル機器を使うときのルールはありますか。	71.2%		28.8%
18	保護者	デジタル機器を使う際の家庭での約束事はありますか。	76.2%		23.8%

児童の回答
1. 2年生 ある80.0% ない20.0%
3. 4年生 ある70.0% ない30.0%
5. 6年生 ある63.2% ない36.8%
※ルールがない児童の中には、もともとそれほど使わないという児童もいます。

25	児童	24で「ある」と答えた人。どんなルールですか。	日、時間を決めて	○分(時間)まで 例:20分～2時間 休みの日だけ ※ゲームでは、時間がたつと使えなくなる設定もあるようです。
			時刻を決めて	○時まで 例:午後8時30分まで 午後9時まで 夜ごはん後はしないなど
			やるべきことを終わらせてから	例:宿題を終わらせてから 習い事が終わった後 お手伝いの後 花丸1個5分など
			使い方に関して	例:オンラインゲームはしない コメント欄など書き込みはしない 負けても文句を言わない 暗いところで見ない 目を離して使う ルールを守れなかった時のペナルティなど

昨今、デジタル機器の長時間使用による子どもの健康への悪影響が懸念されています。具体的には、視力や体力の低下、睡眠の質の低下による体調不良、さらに過度の依存による日常生活への悪影響(学校生活や学習への意欲低下)や心への悪影響(攻撃的、無感動、無反応等)が挙げられます。

現代においてデジタル機器はなくてはならないものであり、生活を便利で豊かにする面もありますが、健全な日常生活に悪影響を及ぼすようになると本末転倒ではないでしょうか。特に判断が未熟な子どものうちは、保護者の管理のもと適切な使用ができるように環境を整えることも大人の大切な務めかと思えます。機会を見て、改めてお子さんとデジタル機器の使用について話し合ってはいかがでしょうか。本人にとってよりよい使い方を親子で共通理解していただきたいと思います。